

保育系弁護士がゆく

少子化時代をサバイブする園の護身術

第50号

個人情報漏えい

レーヴ法律事務所では、全国の園の顧問弁護士として園・先生方のトラブル・悩みごとに対応しています。

事務所に寄せられる様々なご相談を基に、園に役立つ情報をお届けします。

レーヴ法律事務所弁護士。
大阪電気通信大学工学部電子工学科卒業、半導体製造会社にエンジニアとして勤務した後、金沢大学大学院法学研究科法務専攻修了。2012年弁護士登録。
2021年に保育園・幼稚園・こども園でのトラブルや法律問題を主に扱うレーヴ法律事務所に参画。



弁護士
今西 淳浩

Topic

園は、園児とその保護者に関する個人情報を取り扱っており、個人情報保護法（以下「法」といいます。）の「個人情報取扱事業者」として、個人情報の取得・管理・利用・第三者提供等について守るべきルールが課されています。コラム3号では、前記の「第三者提供」に関するルールに反しないように、保育中の様子を撮影した写真や動画のホームページ掲載にあたっては事前に職員・保護者らの同意を得る必要があることについて、コラム35号では、個人情報の漏洩が発生した場合に、法が「個人情報取扱事業者」である園に課している義務についてお話ししました。

本号では、これまで認識されていなかった新たな漏洩場面として、以下の3つの場面についてお話しします。

1 生成AIによる情報漏えい

生成AIは、利用者が質問を入力すると、蓄積されたデータからの学習内容を基に回答を導き出し、あたかも人間と会話するかのように速ければ数秒で自然な文章を返すという、有用なツールとして普及しています。ところが、生成AIは、利用者が入力した情報を学習し、ほかの質問に回答する際に活用しています。

そのため、生成AIに個人情報を入力すると、原則として生成AIのサーバーにその情報が保存されることになり、園外への情報流出が発生するだけでなく、さらに、保存されたこれらの情報がほかの利用者への回答に利用される可能性があります。

したがって、入力したデータを「学習に使用しない」という設定を行うことができない生成AIサービスを利用するにあたっては、個人情報を入力しないようにしてください。



Topic (後半)

2 マルウェア感染による情報漏えい

意図的にパソコンやスマホに不具合を起こすソフトウェアをマルウェアといいます。そのなかには、身代金を要求するランサムウェアや、端末内の個人情報やユーザーの挙動といった情報を収集し、外部へ送信する機能を持つスパイウェアというものがあります。主な感染経路は、Web サイト、メールの添付ファイル、メールに張り付けられたリンクへのクリックがあります。

マルウェア感染による情報漏えいは、大手企業だけの問題ではありません。

園としては、マルウェア感染による情報漏えい防止のために、

- OSを最新版にアップデートする
- セキュリティソフトを導入する
- 職員への情報セキュリティ研修を実施する

などの対策を行う必要があります。



3 不適切なマスキングによる情報漏えい

令和6年に、厚生労働省がホームページに臨床研究中核病院の業務報告書を掲載したところ、この報告書中のマスキング部分が、一定の操作により外すことができる状態になっていたため、臨床研究に従事した病院職員の名前、研究経歴等の情報が漏洩したという事例がありました。

原因は、掲載した報告書(データ)が、PDF上で黒い四角を「重ねる」だけといった、個人情報のデータ自体を消去せずに見かけ上のマスキングを施したファイルであったためです。

園のHPにおいても、苦情対応などの報告書ファイルを掲載する場合があります。そのような報告書をHPに掲載をするにあたっては、例えば、①まずは報告書を紙に印刷し、必要な箇所に黒塗り等のマスキングをする、②必要な箇所が透けて見える状態でないことを確認する、③マスキング処理した紙の報告書をスキャナーでPDF化し、それをHPに掲載するというように、個人情報のデータが存在しないファイルを掲載するようにしてください。

4 最後に

インターネットに接続されたパソコンを使用して業務を行うことが当たり前の状況であることから、今回3つの場面と対応策について紹介しましたが、あくまで一例にすぎません。最新の個人情報漏えい事例を収集・検証し、個人情報漏えい防止策の更新をするようにしてください。

